

図 54 月曜日の TAF-L (WAI)

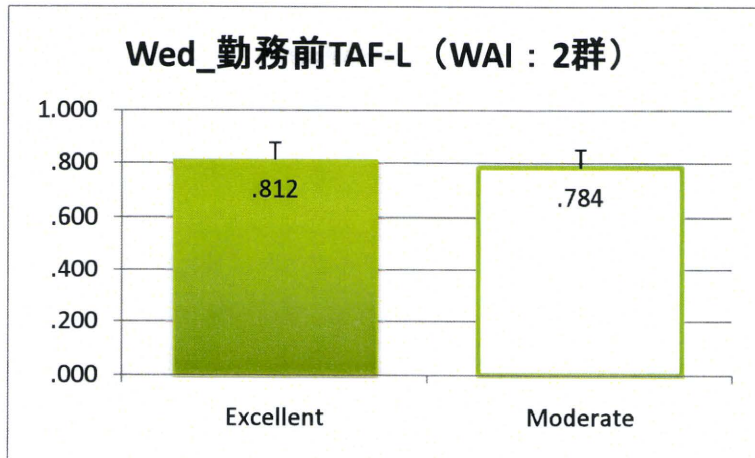


図 55 水曜日の TAF-L (WAI)

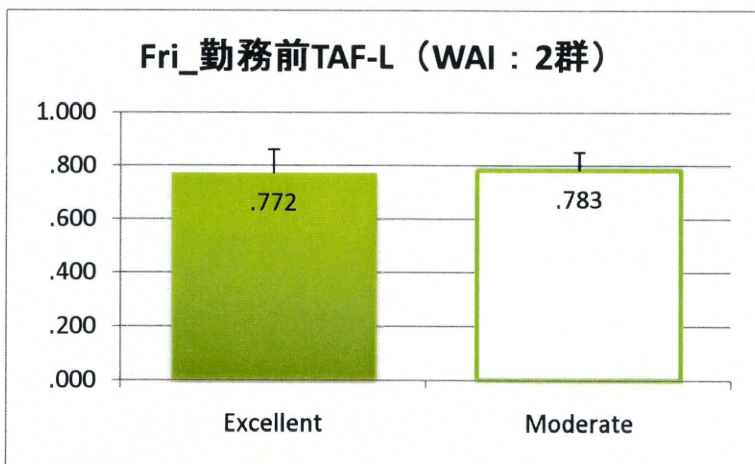


図 56 金曜日の TAF-L (WAI)

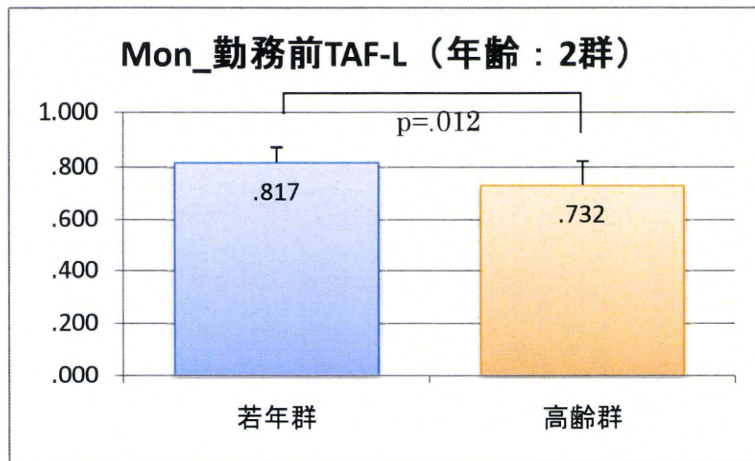


図 57 月曜日の TAF-L(年齢)

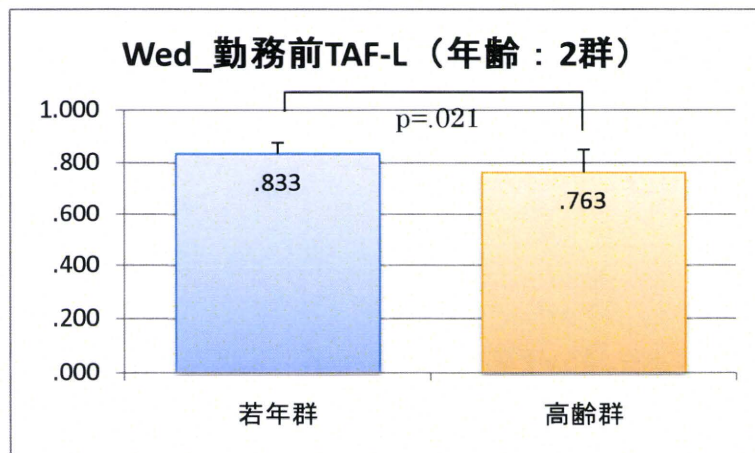


図 58 水曜日の TAF-L(年齢)

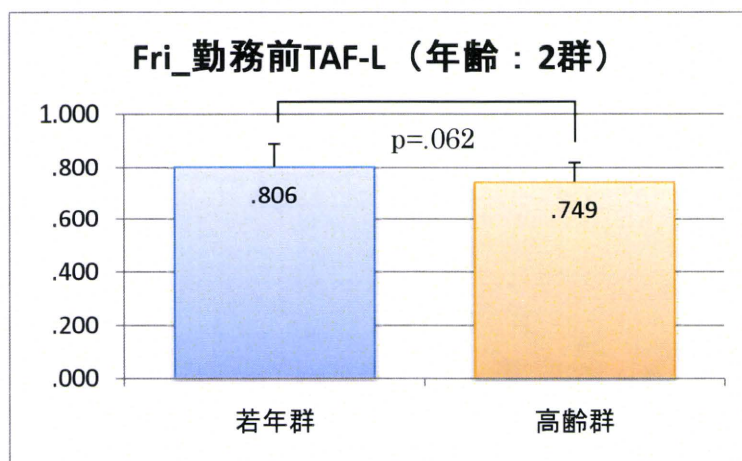


図 59 金曜日の TAF-L(年齢)

3) 勤務後の TAF-L

勤務後における TAF-L の測定の結果、WAI と年齢の組み合わせにおいて、最もよい数値を示したのは Excellent-若年群の 0.81 であった。次いで、Moderate-若年群の 0.79、Excellent-高齢群の 0.75 であった。WAI と年齢との交互作用は有意ではなかった($p=0.918$)。Tukey 法による 4 群の比較では、5%水準での有意差はみられなかった。また WAI の主効果は有意ではなかった ($p=0.404$)。一方、年齢の主効果については有意傾向がみられた ($p=0.052$)。

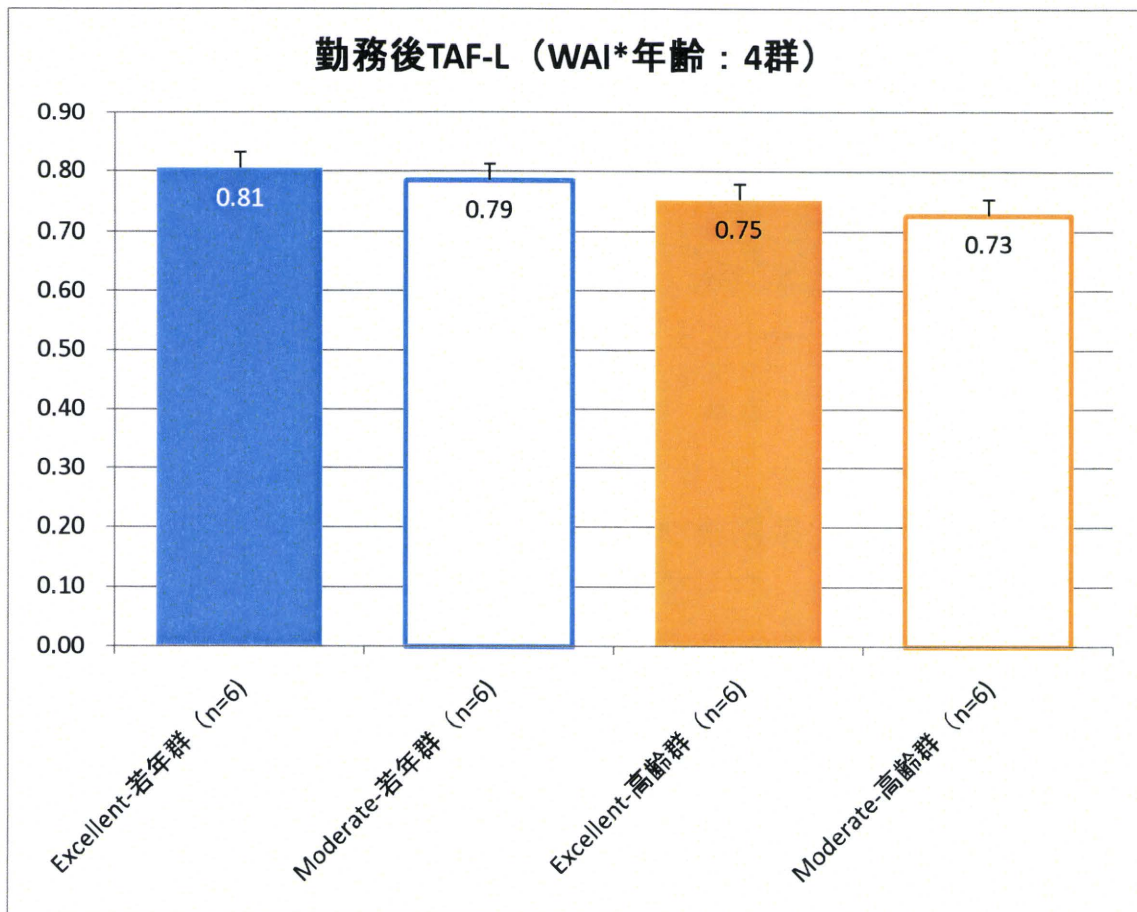


図 60 勤務後の TAF-L (WAI*年齢)

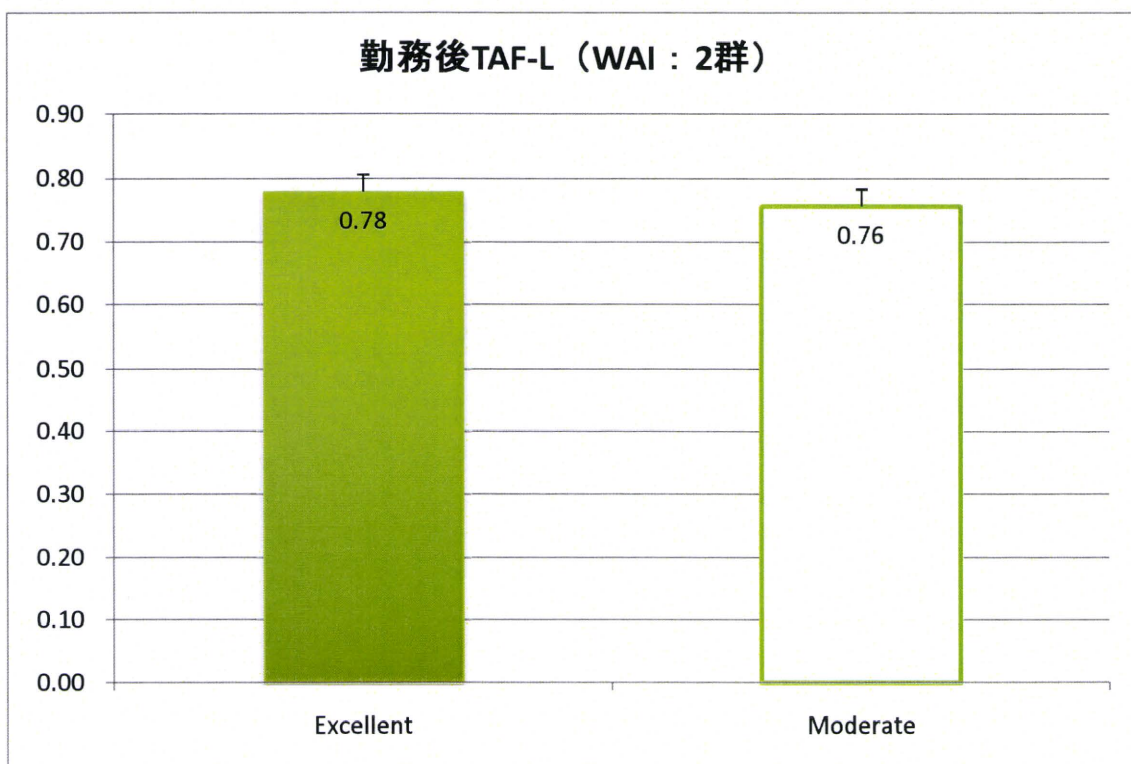


図 61 勤務後の TAF-L (WAI)

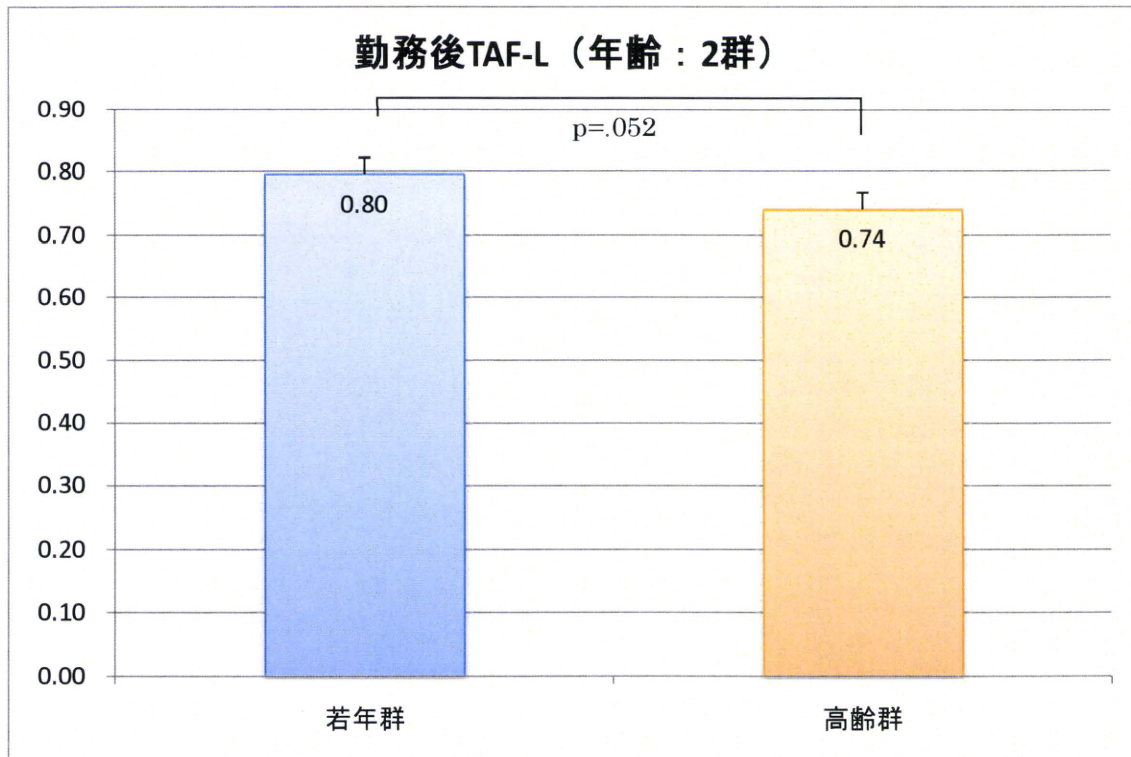


図 62 勤務後の TAF-L(年齢)

4) 曜日別の勤務後の TAF-L

勤務後における TAF-L の測定の結果について、曜日別に検討を行った。WAI と年齢の組み合わせにおいて、最もよい数値を示したのは、すべての曜日で Excellent-若年群であった (.806~.849)。曜日別に 4 群間による分散分析を行った結果、月曜日に有意差がみられた ($p=.038$)。また水曜日において有意傾向がみられた ($p=.094$)。Tukey 法による 4 群間の比較では、月曜日において、Excellent-若年群 > Moderate-高齢群 ($p=.028$)、水曜日においても、Excellent-若年群 > Moderate-高齢群 ($p=.093$) であった。WAI と年齢との交互作用はどの曜日においても有意ではなかった ($p=.683\sim.889$)。また WAI の主効果も有意ではなかった ($p=.123\sim.703$)。一方、年齢の主効果については月曜日、水曜日において有意であった ($p=.012$, $p=.021$)。また金曜日においても年齢の主効果は有意傾向であった ($p=.062$)。

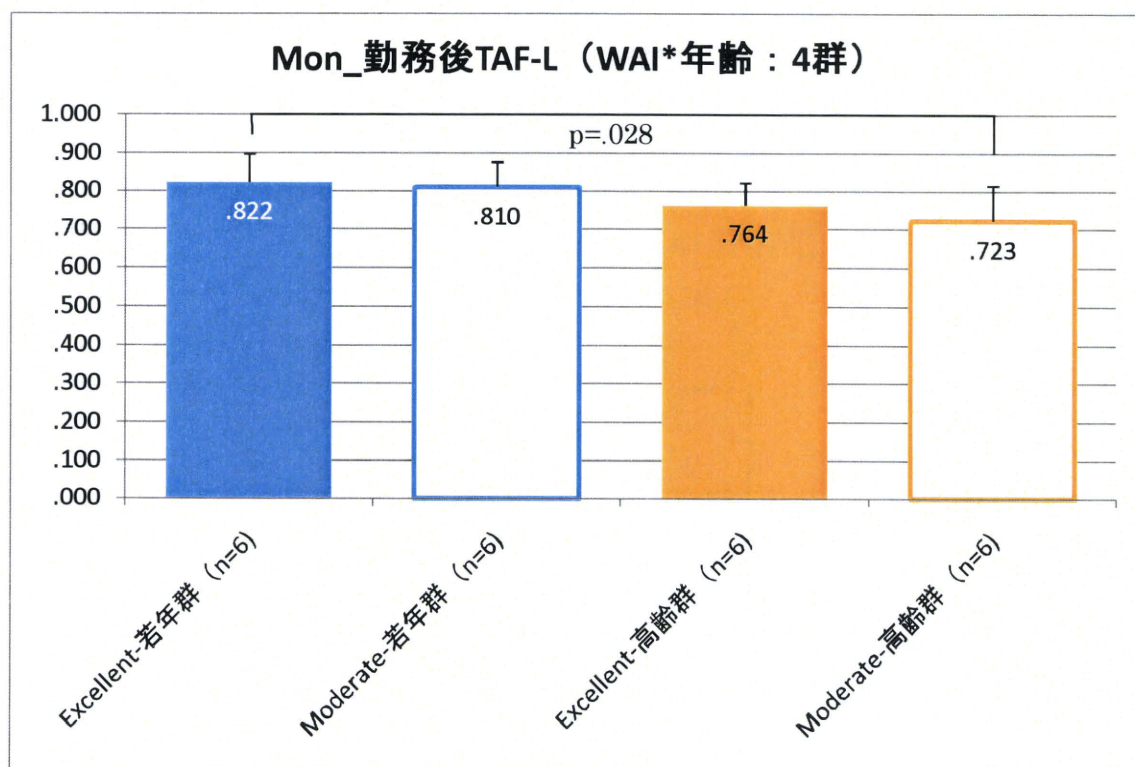


図 63 月曜日の勤務後 TAF-L (WAI*年齢)

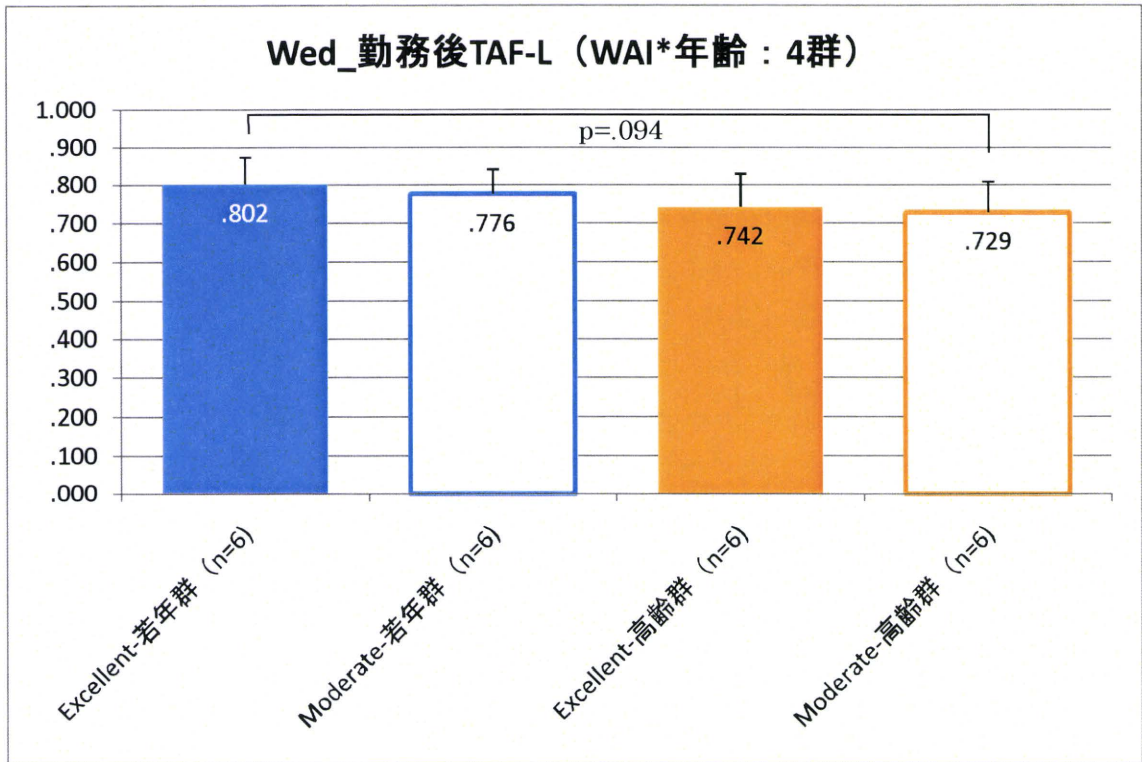


図 64 水曜日の勤務後 TAF-L (WAI*年齢)

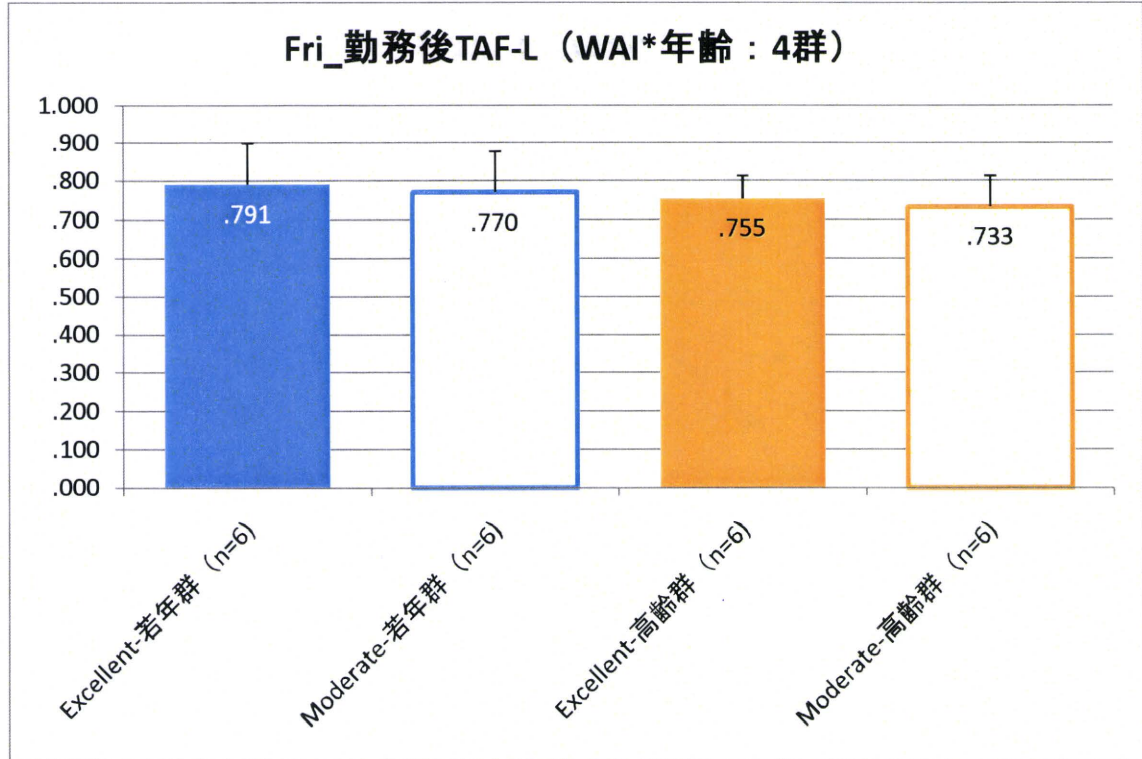


図 65 金曜日の勤務後 TAF-L(WAI*年齢)

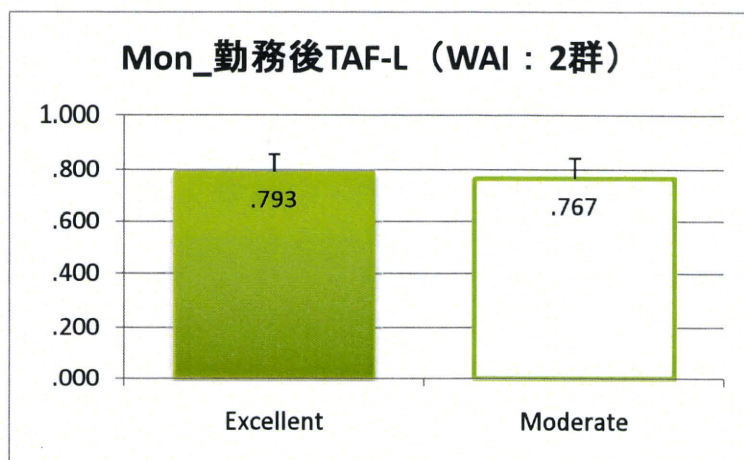


図 66 月曜日の勤務後 TAF-L (WAI)

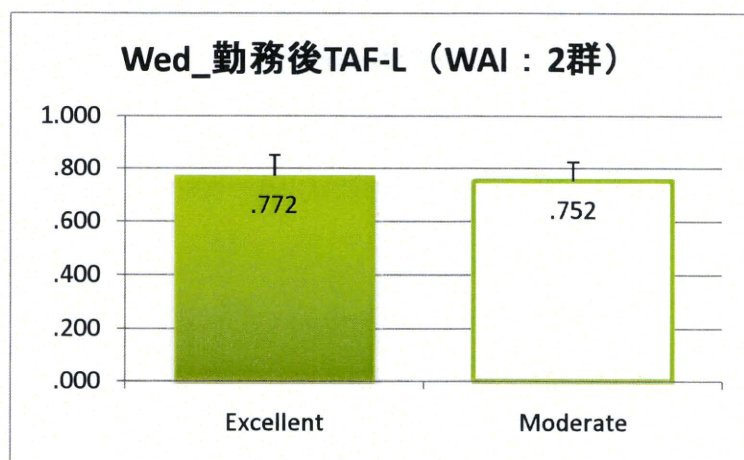


図 67 水曜日の勤務後 TAF-L (WAI)

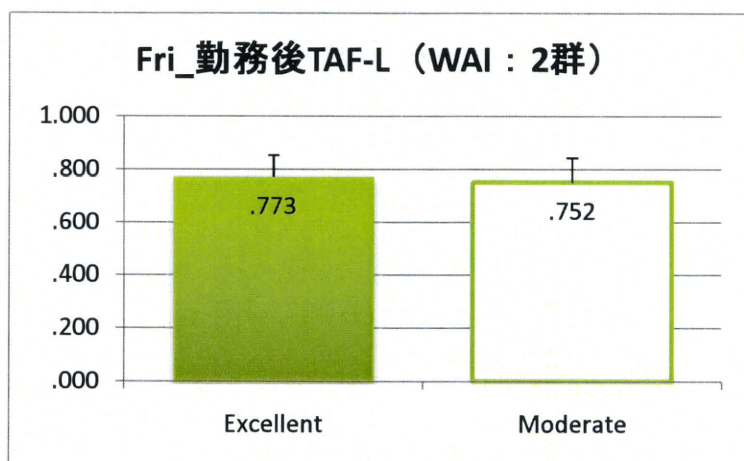


図 68 金曜日の勤務後 TAF-L (WAI)

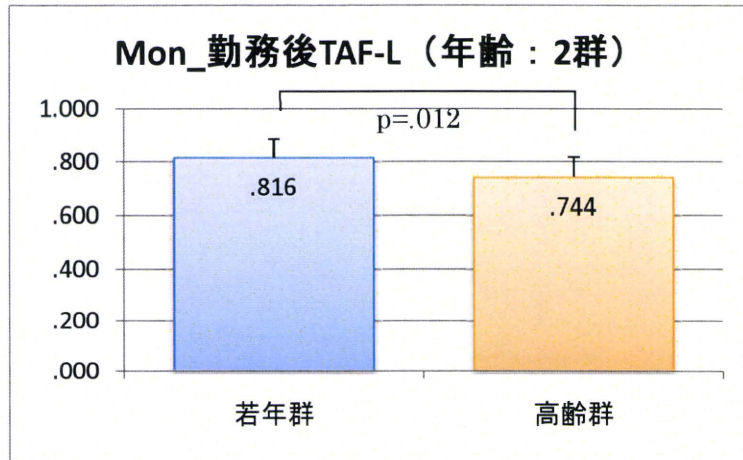


図 69 月曜日の勤務後 TAF-L (年齢)

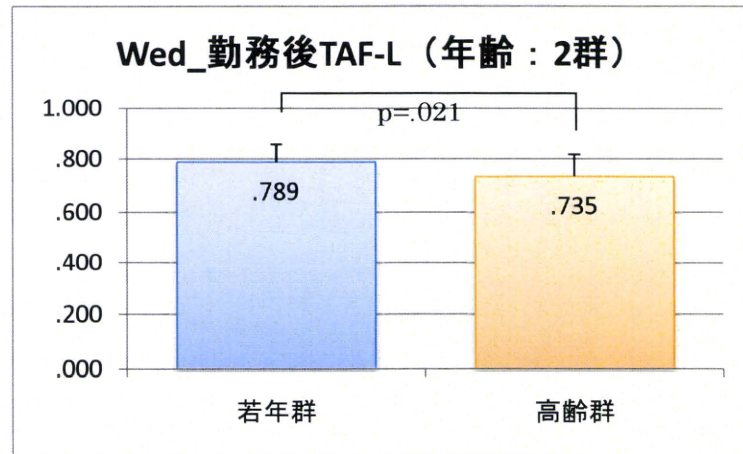


図 70 水曜日の勤務後 TAF-L (年齢)

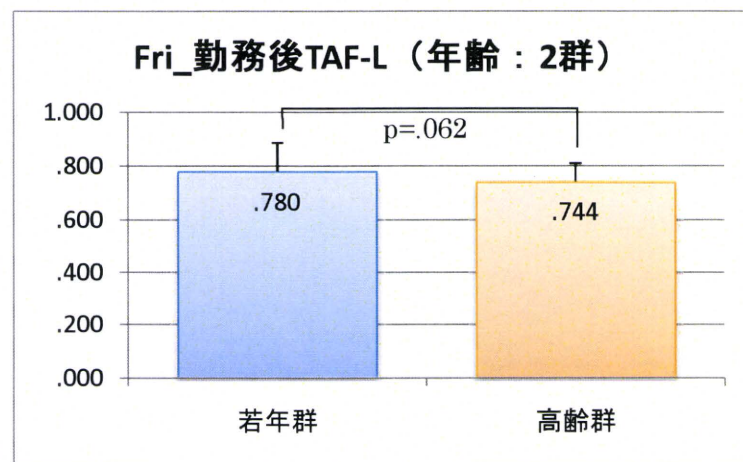


図 71 金曜日の勤務後 TAF-L (年齢)

5) 勤務前後の TAF-L の差

勤務前後における TAF-L の測定値の差について、WAI と年齢による 4 群間それぞれで検討した。その結果、勤務前後における差(日内変動)が有意であったのは、Excellent-若年群 ($p=.033$) のみであった。Excellent-若年群における勤務前の TAF-L は 0.831、勤務後は 0.805 であり、その差は 0.0260(95%信頼区間: 0.00031 ~ 0.04891)であった。

WAI のカテゴリ別に勤務前後の TAF-L を比較したところ、Excellent では $p=.184$ 、Moderate では $p=.247$ であった。また、年齢群別において、若年群では $p=.078$ 、高齢群では $p=.546$ であった。

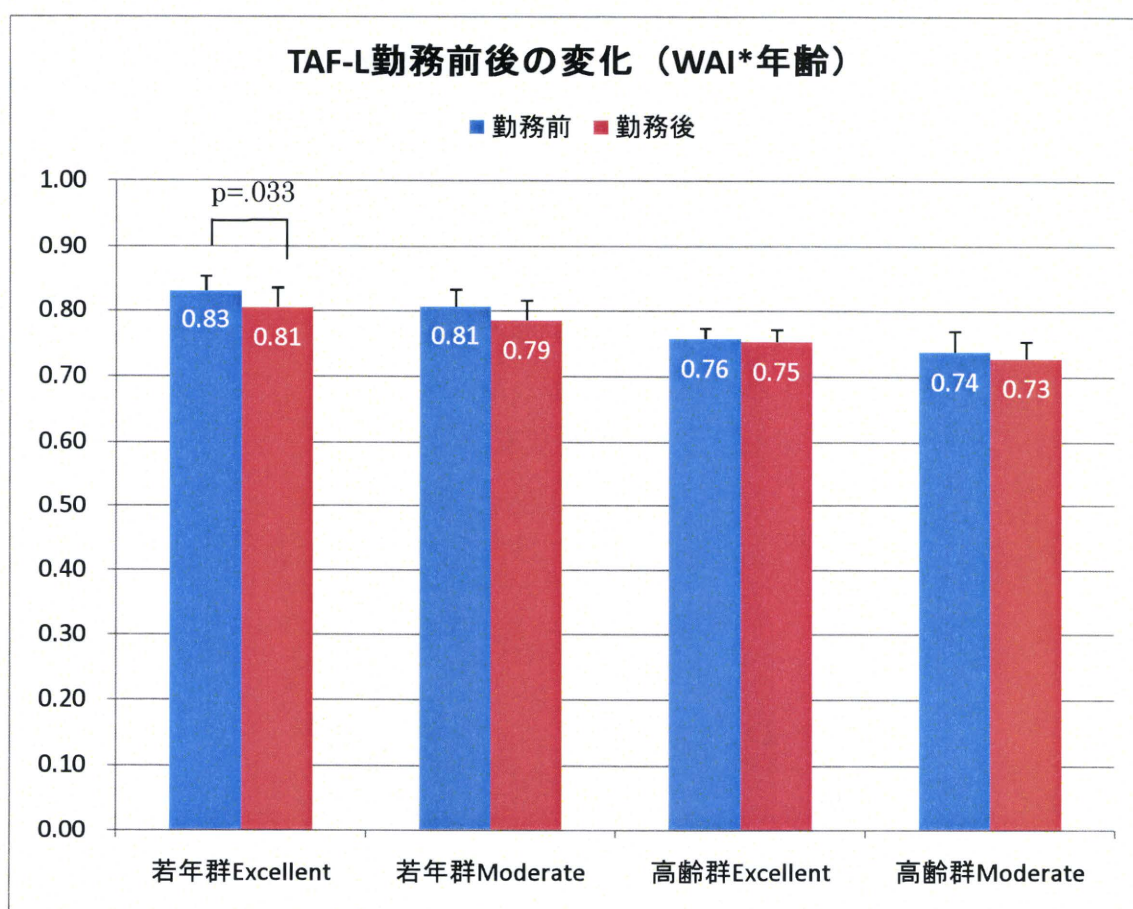


図 72 勤務前後の TAF-L の変化 (WAI * 年齢)

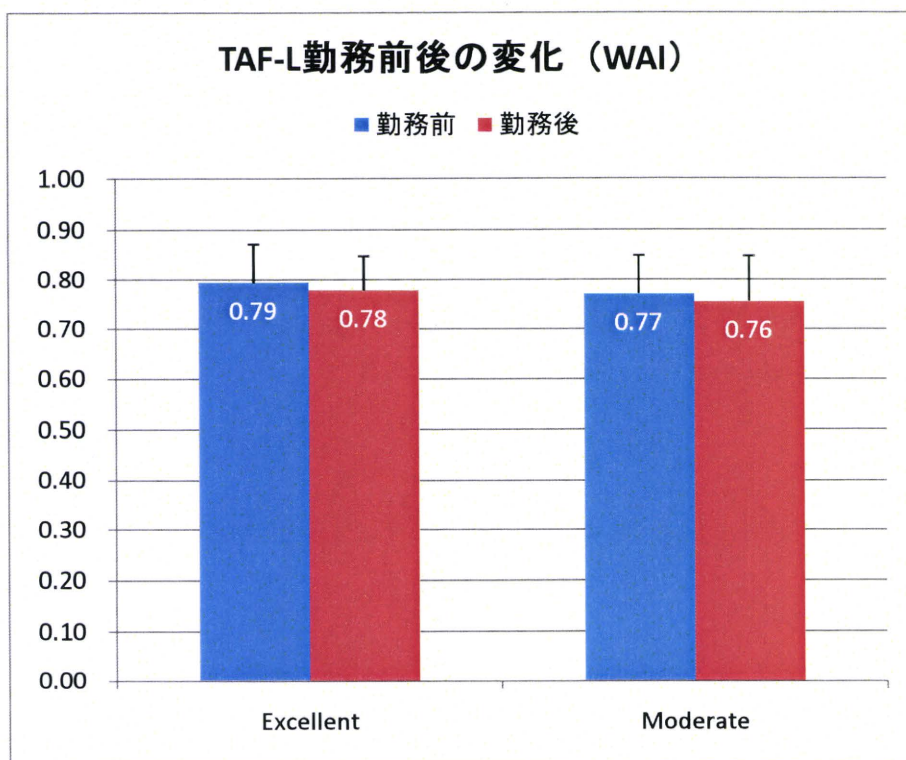


図 73 勤務前後の TAF-L (WAI)

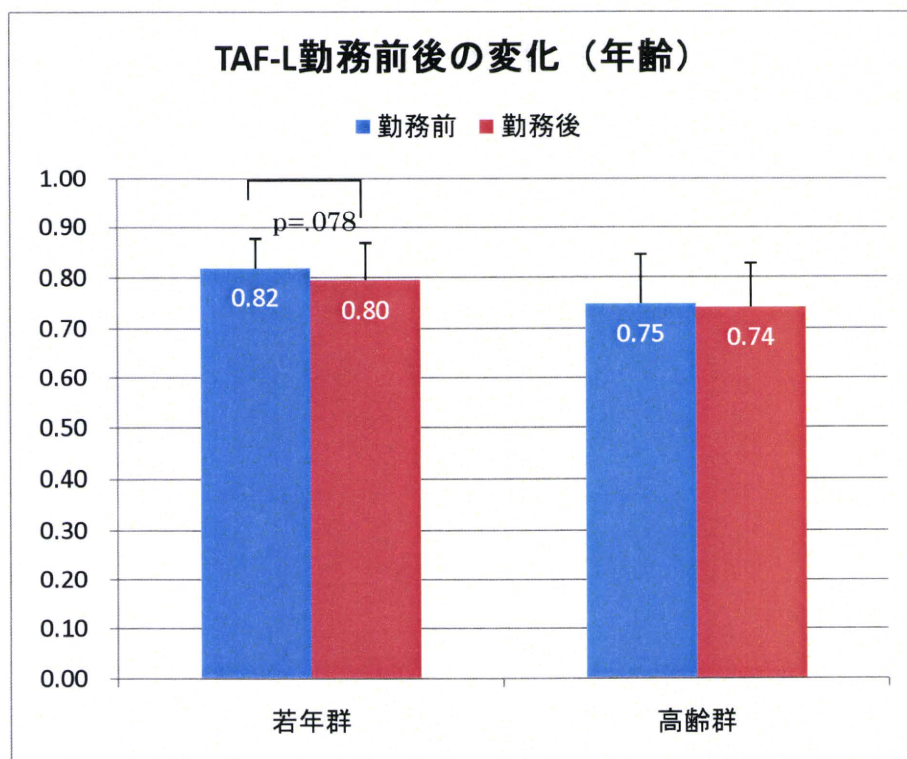


図 74 勤務前後の TAF-L (年齢)

6) 曜日別の勤務前後の TAF-L の差

曜日別に勤務前後の TAF-L の測定値の差について検討した。WAI と年齢による 4 群間それぞれで検討した。その結果、勤務前後における差（日内変動）について $p < .1$ であったのは、Excellent-若年群の水曜日 ($p = .070$) のみであった。次に WAI のカテゴリ別に各曜日の勤務前後の TAF-L を比較したところ、 $p < .1$ であったのは、Excellent の水曜日 ($p = .016$) および、Moderate の水曜日 ($p = .094$) であった。また、年齢群別においては、若年群の水曜日 ($p = .014$) のみであった。、若年群では $p = .078$ 、高齢群では $p = .546$ であった。

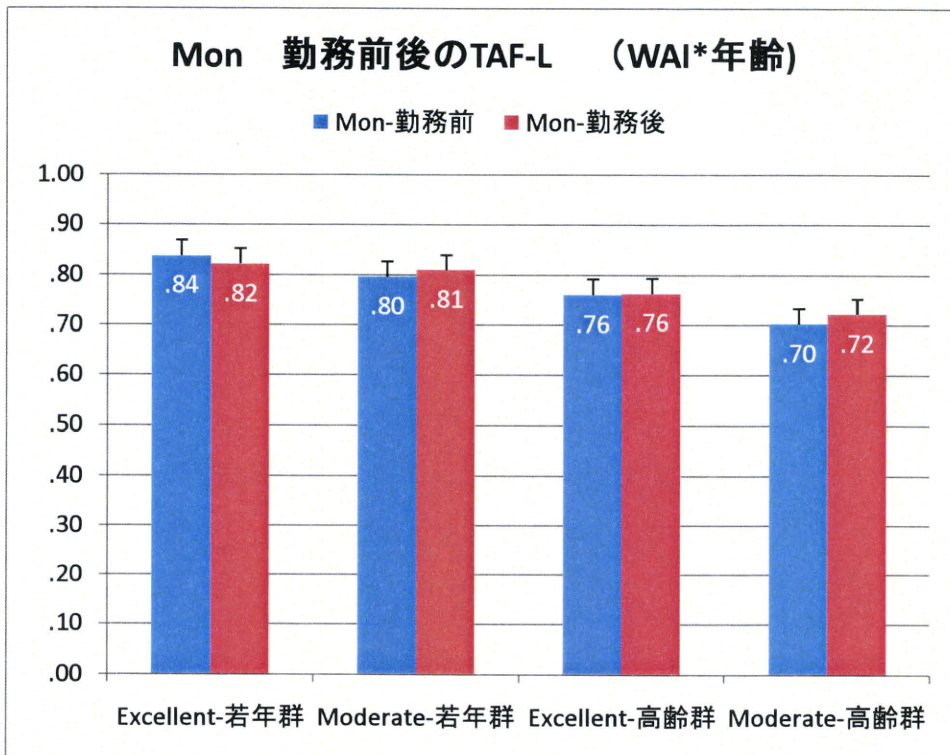


図 75 月曜日の勤務前後の TAF-L (WAI*年齢)

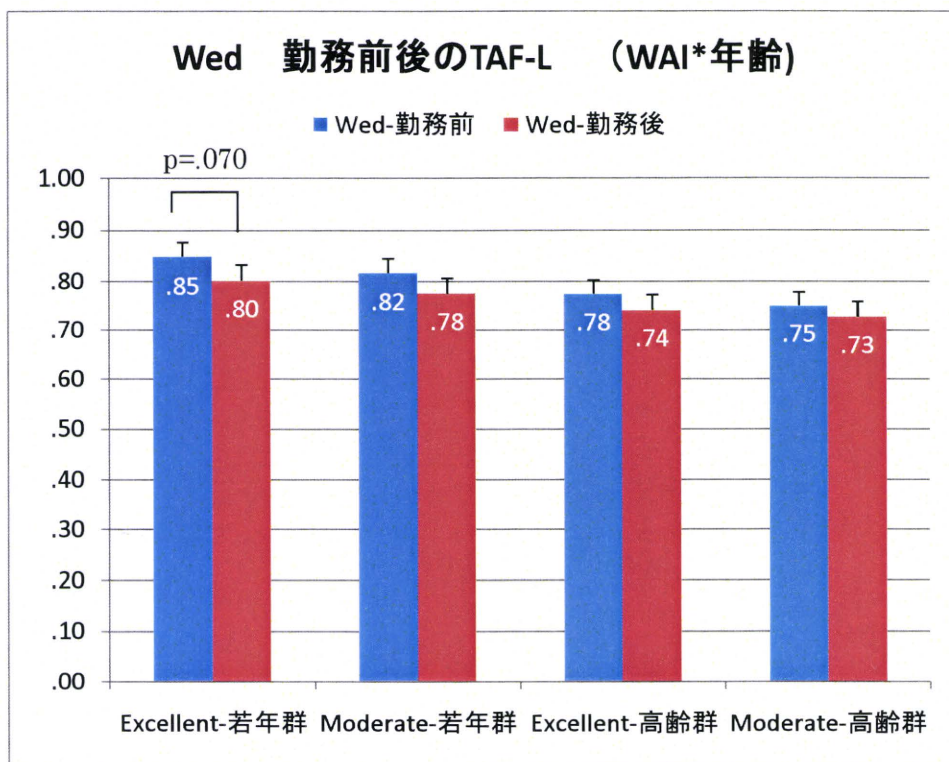


図 76 水曜日の勤務前後の TAF-L (WAI*年齢)

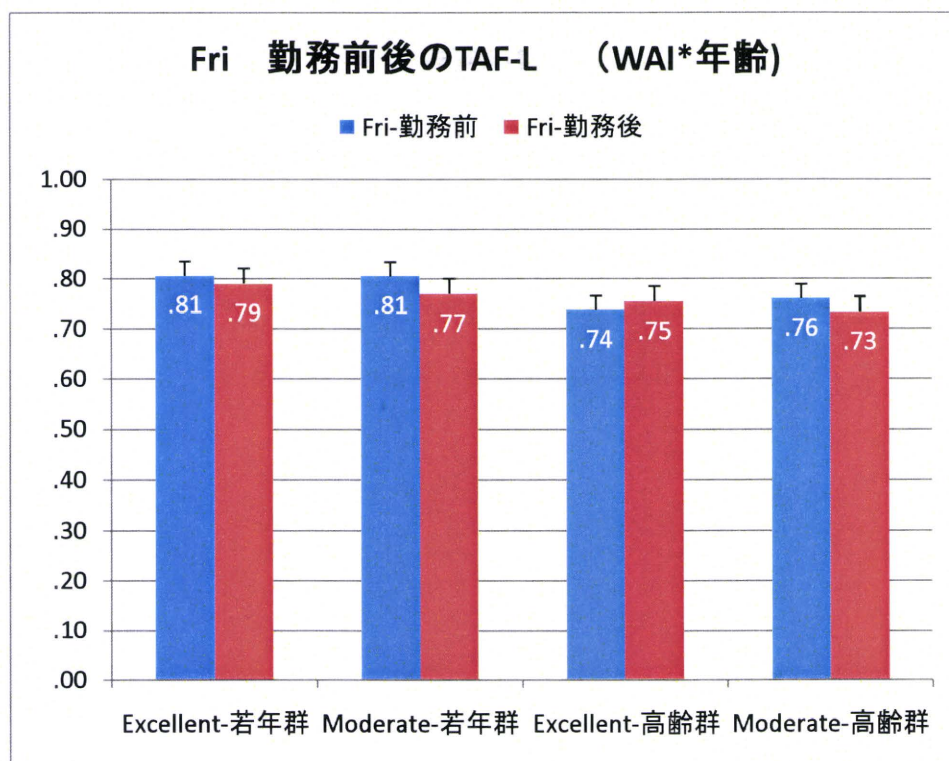


図 77 金曜日の勤務前後の TAF-L (WAI*年齢)

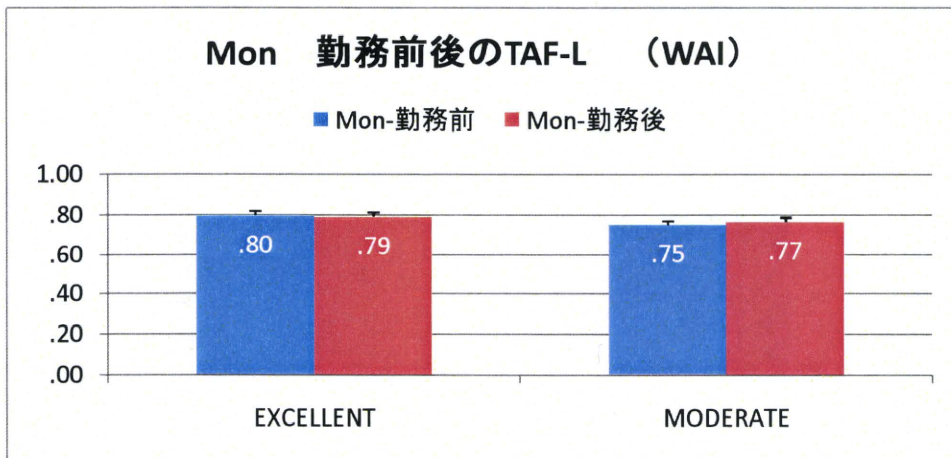


図 78 月曜日の勤務前後の TAF-L (WAI)

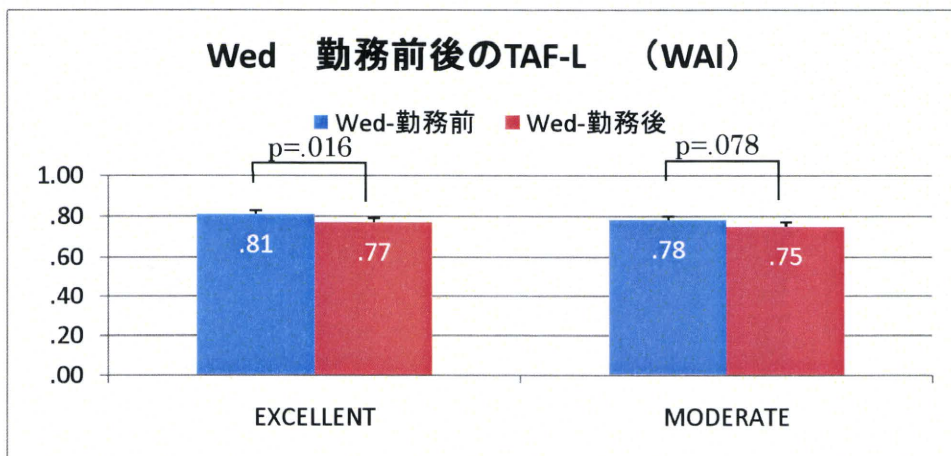


図 79 水曜日の勤務前後の TAF-L (WAI)

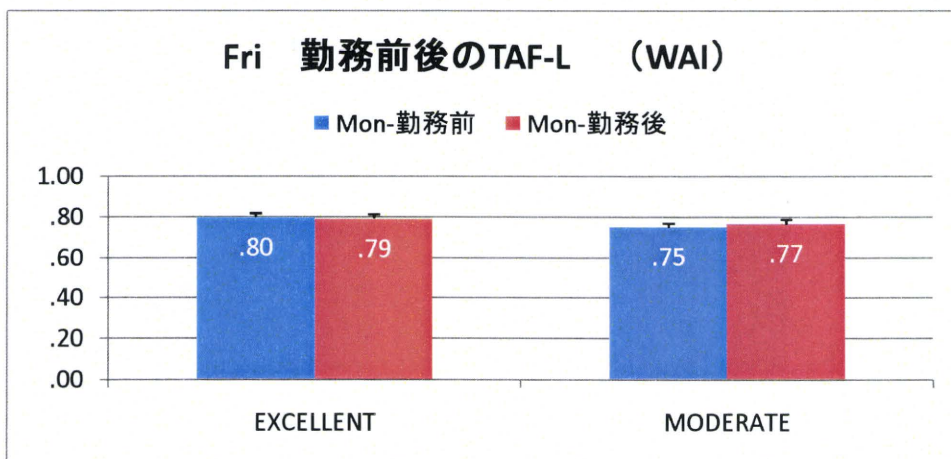


図 80 金曜日の勤務前後の TAF-L (WAI)

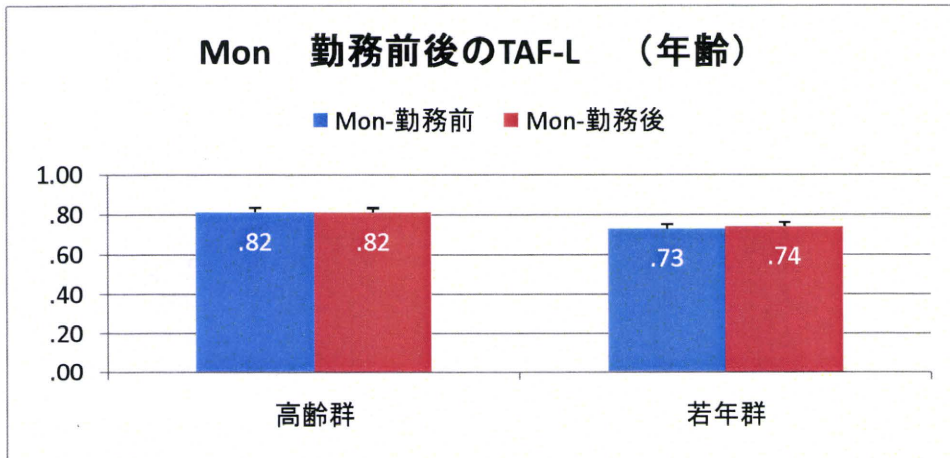


図 81 月曜日の勤務前後の TAF-L (年齢)

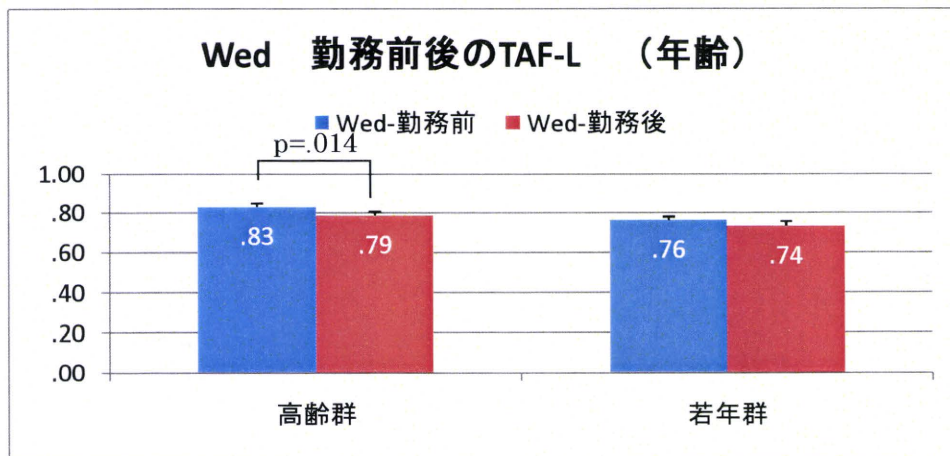


図 82 水曜日の勤務前後の TAF-L (年齢)

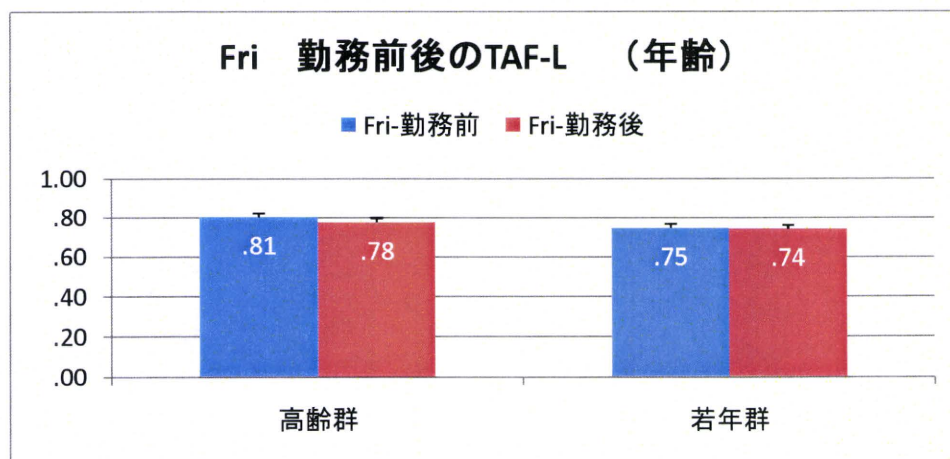


図 83 金曜日の勤務前後の TAF-L (年齢)

7) TAF-L の週内変動

勤務前の TAF-L における週内変動について、WAI と年齢による 4 群での比較を行った。その結果、週内変動が有意であった群はみられなかった。また勤務後の TAF-L についても同様の解析を行ったが、週内変動が有意差であった群はみられなかった。同様に WAI 別、年齢別に勤務前後の TAF-L の週内変動についても反復測定分散分析により検討したが、有意差はみられなかった。

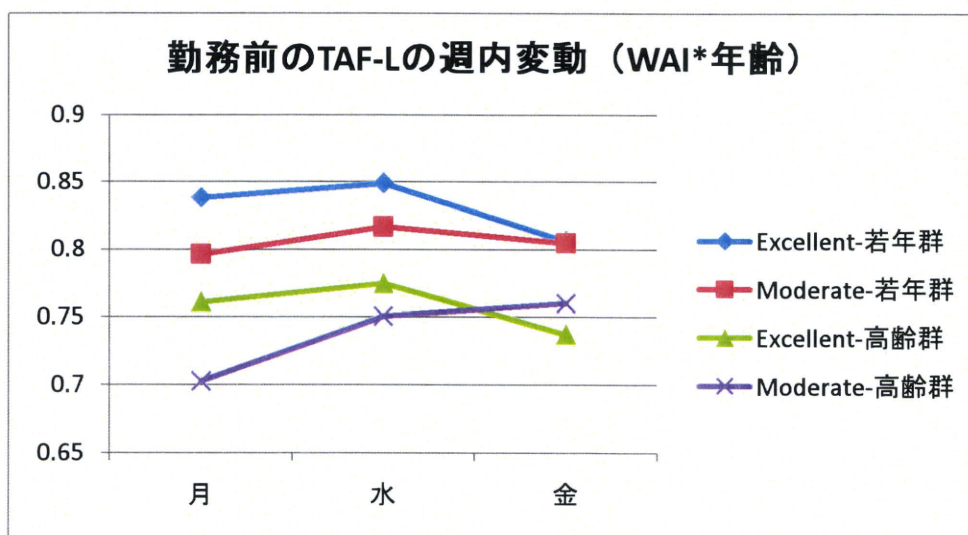


図 84 勤務前の TAF-L の週内変動 (WAI*年齢)

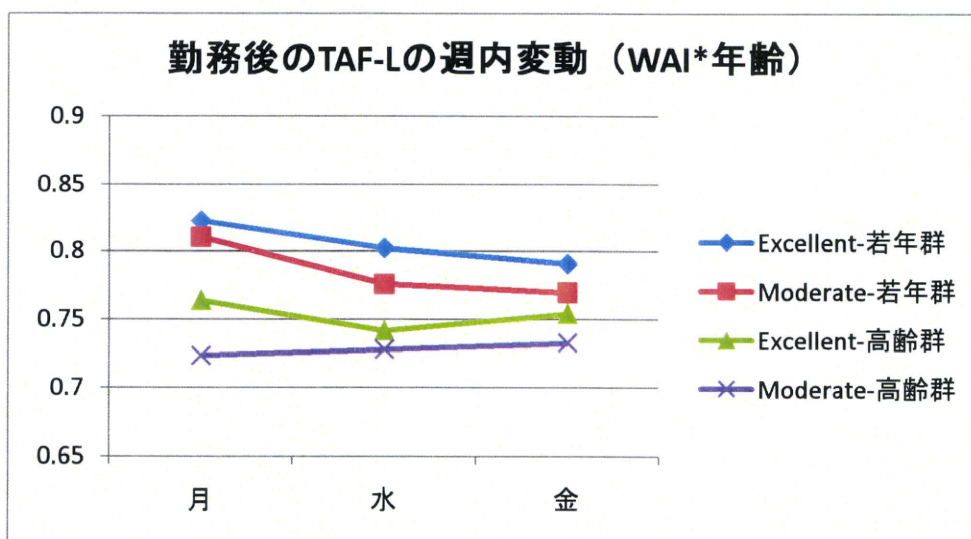


図 85 勤務後の TAF-L の週内変動 (WAI*年齢)

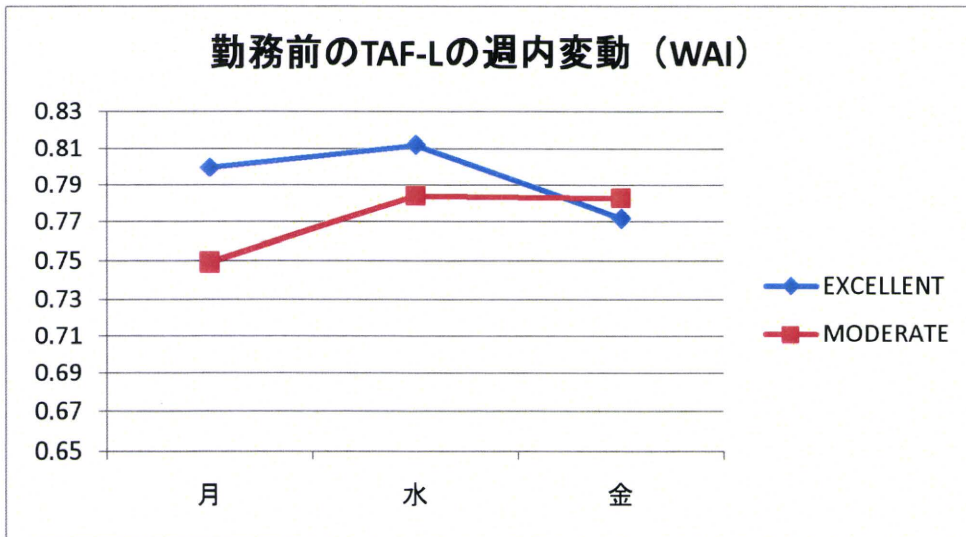


図 86 勤務前の TAF-L の週内変動（WAI）

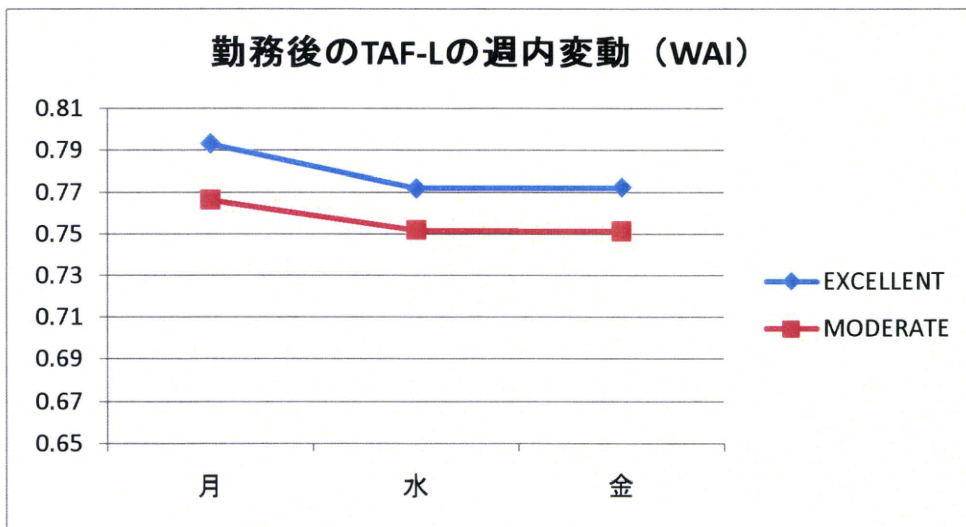


図 87 勤務後の TAF-L の週内変動（WAI）

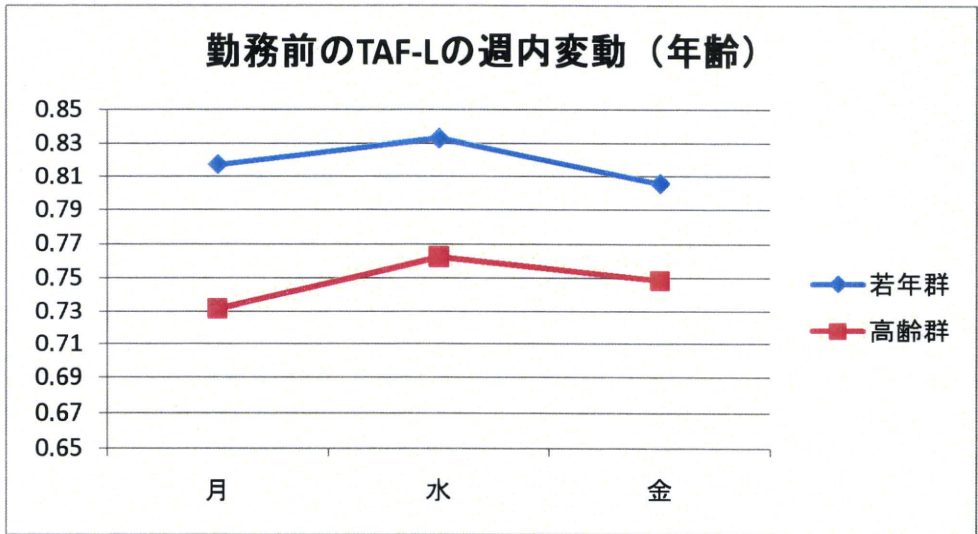


図 88 勤務前の TAF-L の週内変動（年齢）

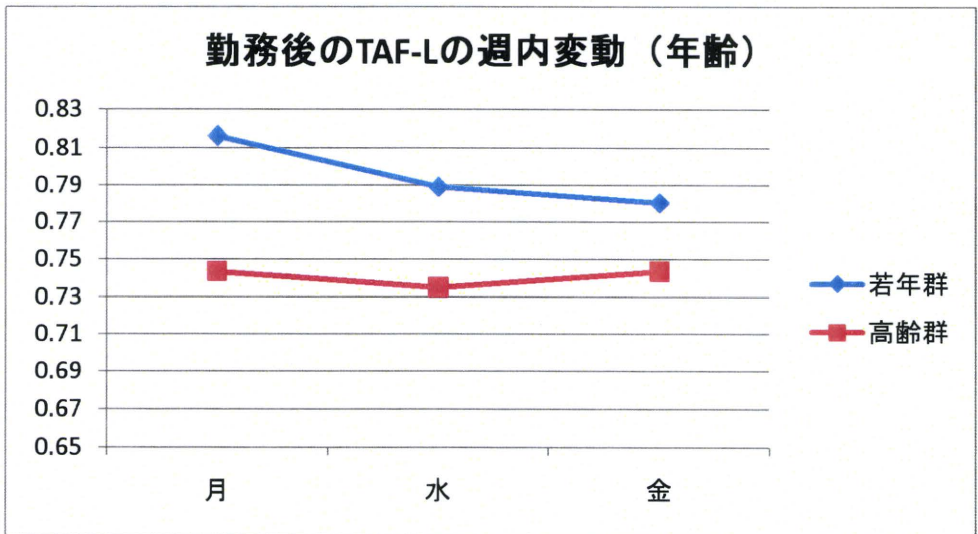


図 89 勤務後の TAF-L の週内変動（年齢）

8) 勤務前の TAF-D

勤務前における TAF-D の測定の結果、WAI と年齢の組み合わせにおいて、最もよい数値を示したのは Excellent-若年群の 0.186 であった。次いで、Moderate-若年群の 0.190、Excellent-高齢群の 0.218 であった。WAI と年齢との交互作用は有意ではなかった($p=.918$)。Tukey 法による 4 群の比較では、以下の組み合わせにおいて有意差がみられた。Excellent-若年群 < Excellent 高齢群 ($p=.021$)、Excellent-若年群 < Moderate-高齢群 ($p=.007$)、Moderate-若年群 < Excellent-高齢群 ($p=.044$)、Moderate-若年群 < Moderate-高齢群 ($p=.014$)。WAI の主効果は有意ではなかった ($p=.550$)。一方、年齢の主効果については有意差がみられた ($p<.001$)。

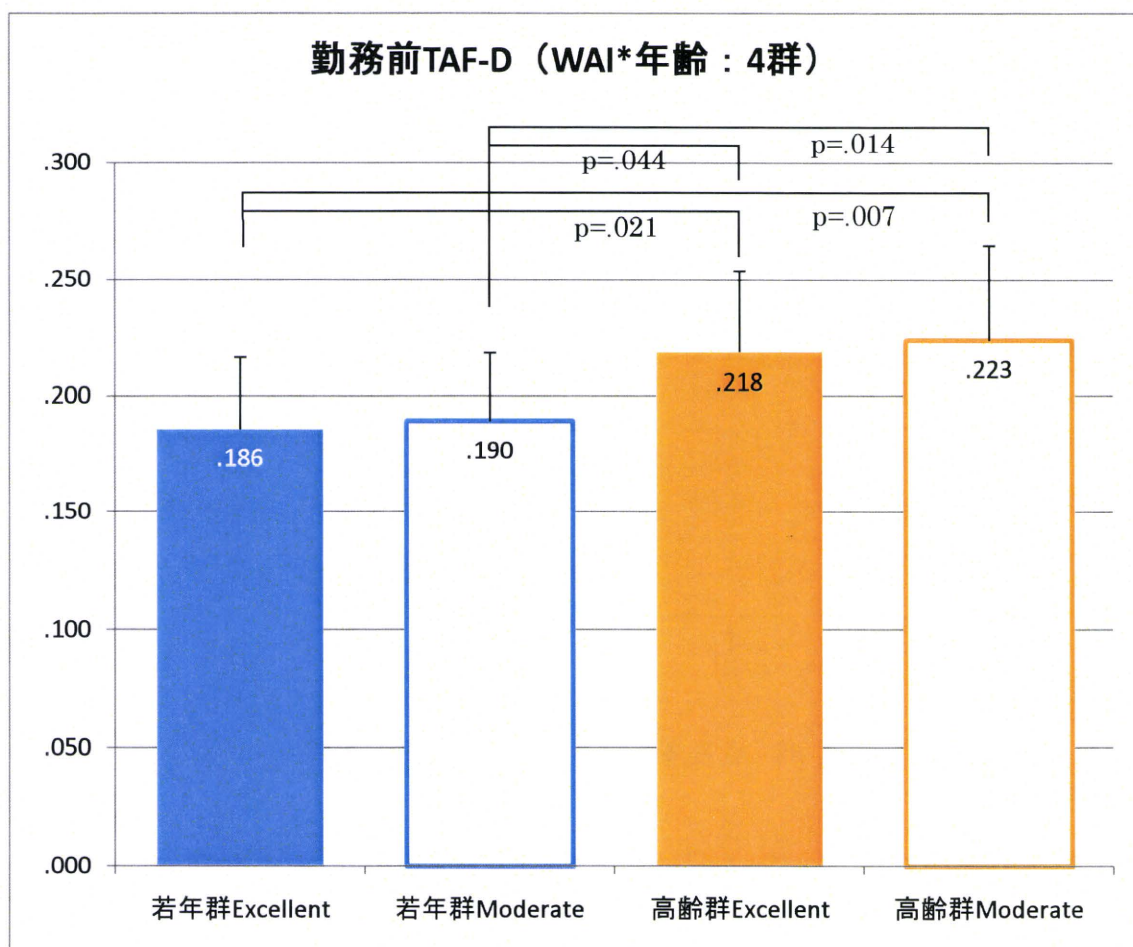


図 90 勤務前の TAF-D (WAI*年齢)

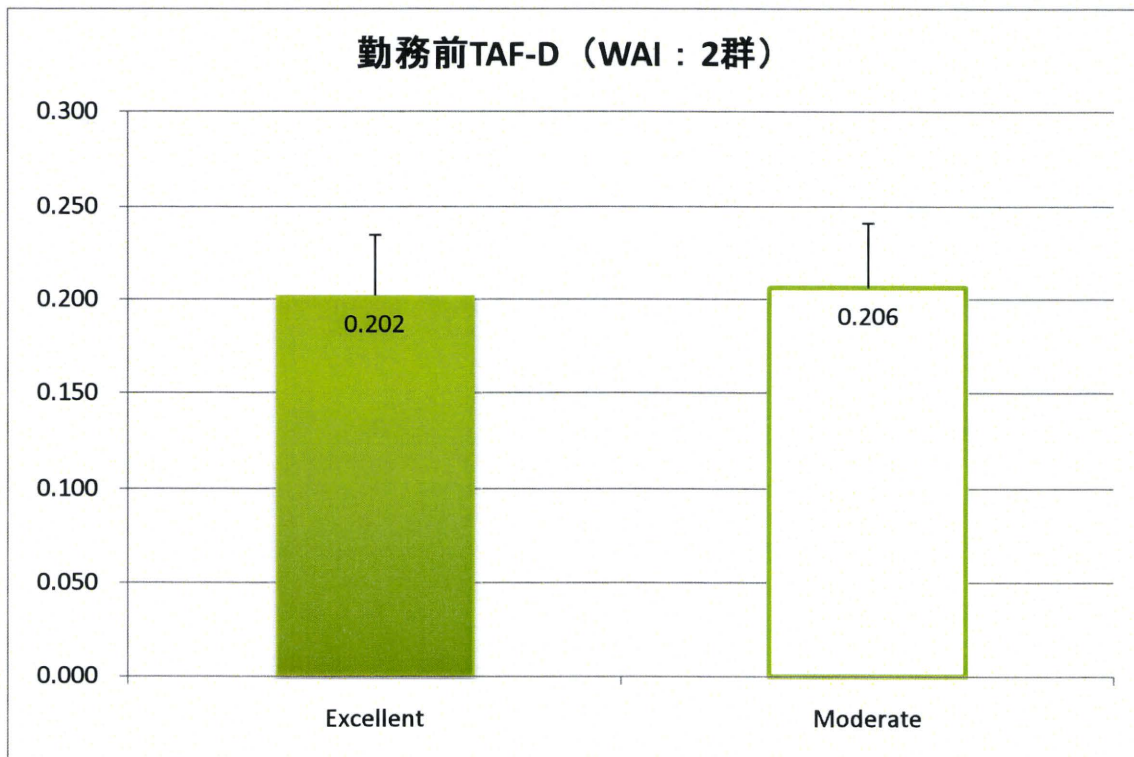


図 91 勤務前の TAF-D (WAI)

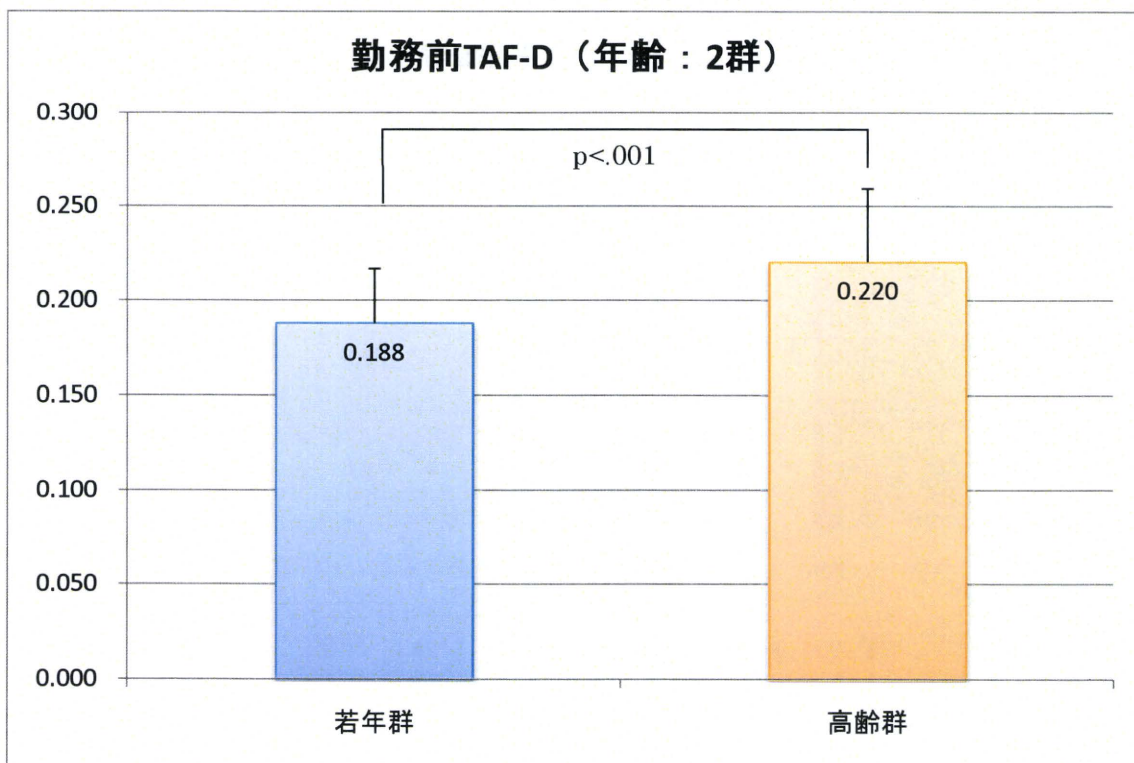


図 92 勤務前の TAF-D(年齢)

9) 曜日別の勤務前 TAF-D

勤務前における TAF-D の測定の結果について、曜日別に検討を行った。WAI と年齢の組み合わせにおいて、最もよい数値を示したのは、月曜日・水曜日においては Excellent・若年群（月曜日の TAF-D=.188、水曜日の TAF-D=.182）、金曜日においては、Moderate・若年群（TAF-D=.177）であった。曜日別に 4 群間による分散分析を行った結果、水曜日と金曜日に有意差がみられた ($p=.006$, $p=.013$)。Tukey 法による 4 群間の比較では、水曜日において Excellent・若年群 < Excellent・高齢群 ($p=.068$)、Excellent・若年群 < Moderate・高齢群 ($p=.011$)、Moderate・若年群 < Moderate・高齢群であった。金曜日においては、Moderate・若年群 < Excellent・高齢群 ($p=.029$)、Moderate・若年群 < Moderate・高齢群 ($p=.040$) であった。WAI と年齢との交互作用はどの曜日においても有意ではなかった ($p=.623 \sim .810$)。また WAI の主効果は有意ではなかった ($p=.350 \sim .489$)。一方、年齢の主効果については水曜日、金曜日において有意であった ($p=.001$, $p=.002$)。また月曜日においても年齢の主効果は有意傾向であった ($p=.078$)。

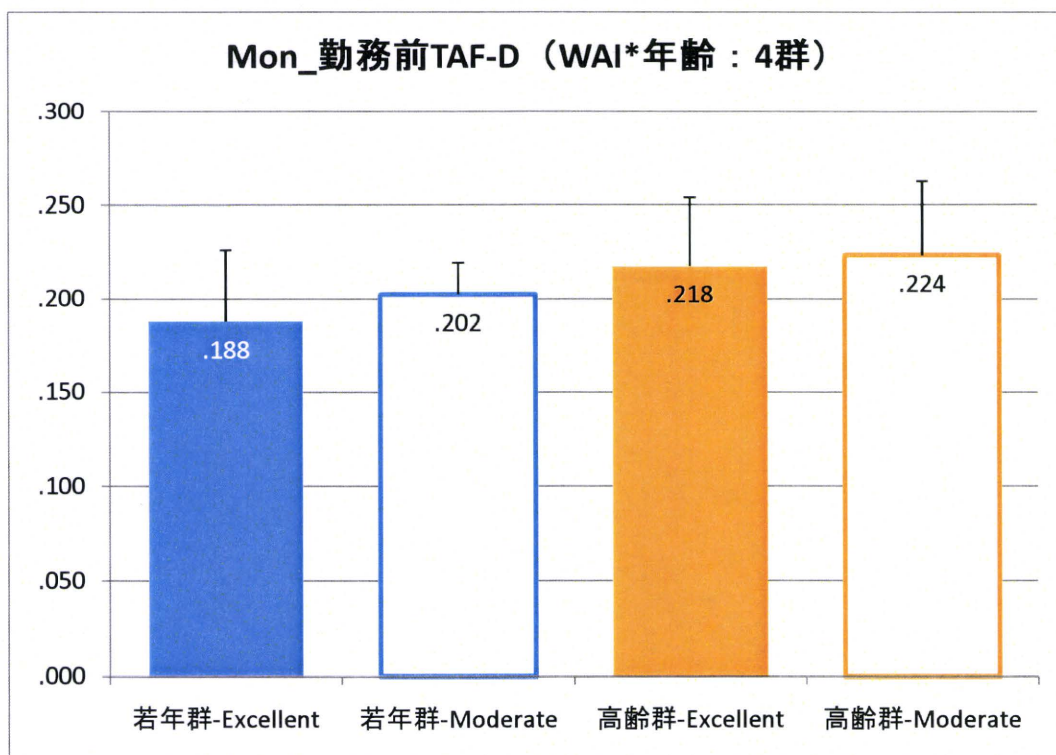


図 93 月曜日の勤務前の TAF-D (WAI*年齢)